慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

| | |
|---|---|
| Title | 編集後記 |
| Sub Title | |
| Author | 丸山, 絵美子(Maruyama, Emiko) |
| Publisher | 慶應義塾大学法学研究会 |
| Publication year | 2020 |
| Jtitle | 慶應義塾大学大学院法学研究科論文集 (Proceedings of Keio University Graduate School of Law Studies in Law and Politics). No.60 (2020. ) ,p.169- 169 |
| JaLC DOI | |
| Abstract | |
| Notes | |
| Genre | Article |
| URL | https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00069591-00000060-0169 |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

# 編集後記

本号（大学院法学研究科論文集六十号）を公刊することができた。法律学・政治学に属する三本の論考が掲載されている。興味深い問題設定とアプローチによる力作であり、専門領域を超えて多くの方にご高覧いただければ幸いに思う。

『大学院法学研究科論文集』については、ここ数回、論文投稿の減少が指摘されており、今回も、前々回、前回に引き続き、掲載論考が三本にとどまった。本誌は大学院法学研究科に在籍する学生に投稿資格がある。自身の研究を、誌面に公表できる非常に貴重な機会が与えられていると言える。研究を文章化し、公刊することによって、有益な意見や批判をいただく機会にも繋がる。与えられている機会を、より積極的に活用することを、本塾大学院法学研究科に在籍する学生には期待したい。

本号の編集にご尽力いただいた慶應義塾大学出版会の堀井健司氏に、心から感謝申し上げる。

令和二年五月

『大学院法学研究科論文集』担当編集委員　法学部教授　丸山　絵美子